

1分で読みとくアメリカ

読得
目ミトク

No.15

シェール革命の現場から ～ヒューストン訪問記② 1/2～

今回は前回に引き続きヒューストンの石油化学産業（エチレンプラント）の様子を紹介しました。今回は設備を拡張するMLP※1関連施設を紹介したいと思います。

ヒューストンには、キンダー・モルガン、エンブリッジ・エナジー・パートナーなど大手MLP数社が本社を構えています。

最初はその一角で、MLPの中で時価総額トップのエンタープライズ・プロダクト・パートナーズの施設（ヒューストン中心部から車で東に約1時間）を訪問しました。ここはパイプラインなどで運ばれたNGL（天然ガス液）をエタンなどに分離する施設です。エタンはエチレン※2の材料となるもので、前号で紹介した近隣のエチレンプラント増設で需要が大きく伸びているそうです（エタンはここから再びパイプラインなどでエチレンプラントに運ばれるそうです）。

エタン需要の拡大で当MLPは分離施設を拡張しており、施設周辺では建機やダンプカーを数多く見掛けました。

興味深かった施設として、地下に掘られた岩塩ドーム・ストレージ（貯蔵施設）がありました。地上のストレージ建設には1基当たり2,000万米ドル程度かかるそうですが、岩塩ドーム・ストレージであれば100万米ドルで済みコストが安いとのことでした。

※1 マスター・リミテッド・パートナーシップの略称。
エネルギー関連事業に対する共同投資事業で、持ち分が取引所に上場されている。

※2 ポリ袋、ペットボトルの原料の一部に使われる。



エンタープライズ・プロダクト・パートナーズ
事務所玄関



地下は岩塩で出来た巨大な貯蔵施設



ひっきりなしに建設現場に向かうダンプカー

写真撮影：弊社社員

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

<審査番号: 122404.OTHER.MED.OTU > © 2014 Goldman Sachs. All rights reserved.



Asset
Management

1分で読みとくアメリカ

読得
目ミトク

No.15

シェール革命の現場から ～ヒューストン訪問記② 2/2～

続いて訪問したのは原油のタンクや港湾設備を運営するオイルタンキング・パートナーズです。

当MLPも、シェール革命による原油・天然ガスの輸送量・貯蔵量の増加を受けタンク・港湾設備を拡張していました。新設タンクはカナダからテキサスへ向けて建設中の原油パイプラインに接続予定であること、港湾設備は天然ガスの副産物であるLGP（液化石油ガス）などの輸出が伸びるため積み出し用施設を増設しているとのことでした（今までは中南米から輸入した原油の陸揚げが中心）。

「ヒューストンがあるテキサス州の失業率は全米平均より低い。」、「建設ラッシュで建設労働者が不足している。」、「ヒューストンの人口は今後10年で2倍になる。」と案内して頂いた地元調査会社の方から聞きました。我々が途中で通った高速道路では真新しいピックアップトラックを数多く見掛けました。ヒューストンは、シェール革命がもたらす米国経済の変化（雇用増→所得増→消費増（自動車販売増など））を実感できる場所でした。

《シェール革命による経済効果》

◆インフラ

2025年までの12年間で約90兆円が投資される見通し

◆雇用

新たな石油・ガスのエネルギー・バリューチェーンが2025年までに390万人近い雇用を支えるようになる可能性

◆収入

天然ガス価格の低下により世帯可処分所得が2025年までに3,500ドル増加するとの予測

出所：「IHS, America's New Energy Future (2013年9月)」、「IHS Oil & Natural Gas Transportation & Storage Infrastructure (2013年12月)」、GSAM



オイルタンキング 原油タンクとパイプライン



建設中のタンク



ピックアップトラックが目立つ事務所駐車場

写真撮影：弊社社員

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

<審査番号：122404.OTHER.MED.OTU> © 2014 Goldman Sachs. All rights reserved.